

物のとけ方ととける量

1 つぎの文の (①) ~ (②) にあてはまることばを、下のらんに書きましょう。

物が水にとけて、全体がとうめいになった液を (①) という。物が水にとけても、なくなったわけではないので、水の重さととかした物の重さを合わせた重さは、とかす前と (②)。

①

②

2 50 g の水に 5 g の食塩を全部とかしたとき、できた水よう液の重さについて、正しいものをア～ウから 1 つえらんで、記号で答えましょう。

ア 50 g より軽くなる。

イ 55 g になる。

ウ 50 g のまま変わらない。

答え

3 きまった量の水に、物がとける量をふやす方法として、正しいものをア～ウから 1 つえらんで、記号で答えましょう。

ア 水の量をへらす。

イ 水の温度を下げる。

ウ 水の量をふやすか、水の温度を上げる。

答え

物のとけ方ととける量 こたえ

1 つぎの文の (①) ~ (②) にあてはまることばを、下のらんに書きましょう。

物が水にとけて、全体がとうめいになった液を (①) という。物が水にとけても、なくなったわけではないので、水の重さととかした物の重さを合わせた重さは、とかす前と (②)。

①

水よう液

②

変わらない

2 50 gの水に5 gの食塩を全部とかしたとき、できた水よう液の重さについて、正しいものをア~ウから1つえらんで、記号^{きごう}で答えましょう。

ア 50 gより軽くなる。

イ 55 gになる。

ウ 50 gのまま変わらない。

答え

イ

3 きまった量の水に、物がとける量をふやす方法として、正しいものをア~ウから1つえらんで、記号^{きごう}で答えましょう。

ア 水の量をへらす。

イ 水の温度を下げる。

ウ 水の量をふやすか、水の温度を上げる。

答え

ウ